
2016年度 大学等委託訓練講座 12月生

企業の経理実務家養成科 シラバス

*内容が変更される場合がございます。ご了承ください。

●科目名：決算管理

●担当講師：木原徹

●授業のねらい：企業の会計責任者・担当者が携わる決算業務を中心に、その組み立てや活用方法を理論的かつ実践的に理解。

●授業内容

日程	回	テーマ
12/2 (金)	第1回	《決算の役割》 ◆決算とはなにか ◆決算の目的と意義 ◆CFO（経理担当者）の役割
	第2回	◆財務会計と管理会計◆外部報告（財務）と内部管理（管理）～2つの会計の融合
12/7 (水)	第3回	《決算の基礎（復習）》 ◆会計の原則 ◆財務諸表の組み立てと諸表の関係
	第4回	◆本支店会計、部門別（事業別）会計 ◆個別決算と連結決算 ◆演習
12/9 (金)	第5回	《会計処理 各論①》 ◆棚卸資産会計 ◆引当金会計
	第6回	◆固定資産など ◆演習
12/14 (水)	第7回	《会計処理 各論②（IFRSの影響）》 ◆金融商品会計 ◆固定資産の減損 ◆デリバティブ処理
	第8回	◆退職給付会計 ◆のれん代 ◆ヘッジ会計 ◆演習
12/16 (金)	第9回	《会計処理 各論③（IFRSの影響）》 ◆外貨換算 ◆税効果会計
	第10回	◆事業分離と企業結合 ◆演習
12/21 (水)	第11回	《決算の分析と報告①（外部報告）》 ◆各種経営（財務）指標とその活用
	第12回	◆企業価値、事業価値（1） ◆演習
1/11 (水)	第13回	《決算の分析と報告②（外部報告）》 ◆企業価値、事業価値（2） ◆様々なディスクロージャー
	第14回	◆各種の活用事例
1/13 (金)	第15回	《決算の分析と報告③（内部管理）》 ◆セグメント別管理、PDCA 管理 ◆事業ごとの特徴と原価計算等
	第16回	◆B/E 管理など ◆演習
1/20 (金)	第17回	《決算の分析と報告④（内部管理）》 ◆設備投資の経済評価 ◆企業買収等の評価など
	第18回	◆各種の事例研究 ◆演習
1/27 (金)	第19回	《まとめ》 ◆学習内容の補足、補強
	第20回	

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：14：00～17：10

*演習・・・「財務会計論」「日商簿記1級」「中小企業診断士試験演習/財務・会計論」などのテキストにある「演習問題」を抜粋して実施

●科目名：原価管理

●担当講師：溝口周二

●授業のねらい：原価計算には経営活動の測定対象及び目的に従って、原価を識別、分類、集積、配分、管理する機能があります。原価管理は原価計算基準を基礎に実施される伝統的な原価管理と新しい手法を駆使して実施される戦略的原価管理があります。この講義ではまず原価計算基準に従った伝統的な原価計算を基礎として、これの応用として原価管理を学びます。

原価計算基準によれば、原価計算の目的は以下の2つに大別されます。

①財務諸表に表示するための真実な原価を集計すること

②経営管理、予算編成、経営計画策定などに資すること

本講義では上記①の視点を中心に、製造業で行われる製品原価計算の理論と計算構造を理解し、管理会計論に繋がる②の領域にふれます。

この講義を通じて以下の2点が理解し、説明ができます。

原価計算の基礎理論と計算構造を正確に理解し、原価管理の基礎を習得する。

適切な原価管理計算プロセスを経て、製品原価及び生産活動の適切な原価管理を提案できる。

●講師から一言：「原価管理」を学ぶ方は、その発展として「管理会計」履修することで現代のマネジメントと会計の結びつきをより深く理解できると思います。また、この両科目を学ぶのに特別に「簿記」の知識は必要ありません。奮って、応募してください。

●授業内容

日程	回	テーマ
12/8 (木)	第1回	原価計算の目的 原価とは何か 多様な原価概念
	第2回	製造原価要素の分類基準 (材料費 労務費 経費 製造間接費)
12/15 (木)	第3回	製造原価要素の計算 (材料費 労務費 経費 製造間接費)
	第4回	原価の部門別計算 部門個別費と部門共通費の相違と配賦の方法
12/22 (木)	第5回	実際原価計算の特徴と範囲 総合原価計算と個別原価計算の比較
	第6回	実際原価計算 (1) 単純総合原価計算 工程別総合原価計算
1/12 (木)	第7回	実際原価計算 (2) 期末仕掛品の評価 等級別原価計算 組別原価計算
	第8回	実際原価計算 (3) 個別原価計算の構造と特徴 直接費の賦課と間接費の配賦
1/19 (木)	第9回	標準原価計算 (1) 標準原価算定の目的 標準原価の算定 (材料費 労務費 経費 製造間接費)
	第10回	標準原価計算 (2) 固定予算と変動予算 標準原価の改訂と指示
1/26 (木)	第11回	標準原価計算 (3) 原価差異の分析と原価管理 材料費 労務費 製造間接費
	第12回	標準原価計算 (4) まとめ/戦略的原価管理への方向性 直接原価計算 活動基準原価計算 原価企画など

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：14：00～17：10

科目名：資金管理

●担当講師：李顕史

●授業のねらい：黒字倒産という言葉があるように、利益が出ていても資金繰りが厳しい会社は数多くあります。なぜ、資金繰りが厳しい会社が多いのかを説明するとともに、資金管理方法を損益計算など他の科目と関連づけながら説明・理解していきます。

授業内容

日程	回	テーマ
12/8 (木)	第1回	総論 資金繰り・資金管理が必要な理由、財務戦略
	第2回	総論 資金繰りの理解・分析の概略
12/15 (木)	第3回	資金不足原因 入金面で資金不足になる理由と対策
	第4回	資金不足原因 出金面で資金不足になる理由と対策
12/22 (木)	第5回	資金繰り改善 利益向上を目指す資金繰り改善、数字の見える化
	第6回	資金繰り改善 入金設定の工夫、支払期間の考え方
1/16 (月)	第7回	金融機関からの融資
	第8回	金融機関からの融資 金融機関の考え方の理解・つきあい方
1/23 (月)	第9回	金融機関からの融資 金融機関の審査方法理解と対策
	第10回	緊急事態の資金繰り 倒産回避するための方法
1/30 (月)	第11回	緊急事態の資金繰り 支払いを遅らせるための対策と理論
	第12回	資金調達 資金調達の方法
2/7 (火)	第13回	資金計画 資金繰り表の作り方
	第14回	キャッシュ・フロー計算書
2/14 (火)	第15回	為替管理 リスクヘッジ
	第16回	為替管理 海外子会社特有な資金管理
2/21 (火)	第17回	連結グループに必要な資金管理 CMS
	第18回	まとめ

使用テキスト：「絶対にカネ詰まりを起こさない! 資金繰りの教科書」川北 英貴著 PHP 研究所、

：「海外進出企業の資金・為替管理 Q&A：調達から投資・回収・還元まで」佐和 周著 中央経済社、 オリジナルテキスト

時間：9：50～13：00

●科目名：税務会計

●担当講師：帖佐誠

●授業のねらい：まず、税効果会計の基礎概念を学習し、その適用の必要性を考える。次に、各種の取引における会計と税務の相違を取り上げ、具体的な事例に基づいて法人税申告書別表四、五(一)の記入方法、貸借対照表の表示、損益計算書の表示を学習する。移転価格税制に関しては、基本概念を学習したうえで、いくつかの事例を検討することで理解を深める。

●授業内容

程	回	テーマ
12/7 (水)	第1回	税効果会計とは
	第2回	税効果会計の仕組みと計算方法
12/12 (月)	第3回	別表四と五(一)の関係
	第4回	繰延税金資産の回収可能性
12/19 (月)	第5回	棚卸資産の評価損
	第6回	減価償却
12/21 (水)	第7回	特別償却
	第8回	未払事業税
1/16 (月)	第9回	役員給与
	第10回	有価証券(上場株式)
1/19 (木)	第11回	有価証券の減損
	第12回	外貨建有価証券
1/23 (月)	第13回	割引手形(受取手形の割引)
	第14回	債権の評価と貸倒引当金
1/26 (木)	第15回	移転価格税制の基本概念
	第16回	移転価格税制のケーススタディ

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間： 12/7、21、1/19、1/26 9:50~13:00 12/12、19、1/16、23 14:00~17:10

●科目名：管理会計

●担当講師：溝口周二

●授業のねらい：管理会計は原価計算を学んだ上で学習すると企業経営をコスト、市場、経営戦略の様々な視点から現代の企業が何を目指して活動しているかを理解することができます。皆さんが通常新聞などで目に触れる企業業績や決算短信などの会計情報は、投資家、銀行、税務当局、取引相手などの利害関係者のために、一定の法律および手続きによって作成されます。会計情報の収集、分類、作成、監査等の一連の手続きが財務会計と呼ばれています。しかし、財務会計で作成される会計情報は基本的に過去の事業活動および会計情報に基礎を置くので、経営階層のそれぞれのレベルでの経営管理者が将来にわたって行う意思決定や業績評価のためには使い勝手が悪いのです。様々な階層の経営管理者が将来にわたる経営活動を会計の側面から支援する役割を担うのが管理会計です。この講義では、管理会計の意義、位置づけ、その役割を事例から分かりやすく説明することで理解を深めてゆきたいと考えています。

●講師から一言：「管理会計」を学ぶ方は、その基礎として「原価管理」履修することで現代のマネジメントと会計の結びつきをより深く理解できると思います。また、この両科目を学ぶのに特別に「簿記」の知識は必要ありません。奮って、応募してください。

●授業内容

日程	回	テーマ
2/7 (火)	第1回	経営管理のための管理会計 企業活動と会計の役割 管理会計のフレームワーク
	第2回	管理会計から戦略会計へ 原価企画 活動基準原価計算 (ABC) 活動基準原価管理 価値連鎖など
2/9 (木)	第3回	直接原価計算の意義、機能及びその計算構造
	第4回	固定費と変動費の費用分解
2/14 (火)	第5回	直接原価計算の応用 (1) 損益分岐点分析
	第6回	直接原価計算の応用 (2) 責任会計 事業部業績評価
2/16 (木)	第7回	原価企画の特徴とその考え方
	第8回	活動基準原価計算 (ABC) と活動基準原価管理 (ABM)
2/21 (火)	第9回	価値連鎖とプロセス別原価管理
	第10回	品質原価計算への展開
2/23 (木)	第11回	組織形態の推移と業績評価 ROI ROA EVA 等の業績評価指標の役割
	第12回	管理会計のまとめ 約 100 年の管理会計の歴史を踏まえて 今後の展望

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：14：00～17：10

●科目名：国際会計

●担当講師：武井明

- 授業のねらい：
- ・会計基準のグローバル化進展における国内会計基準の位置付けを説明
 - ・国内会計基準と国際的な会計基準との主な相違点及びその背景を説明
 - ・国際会計の基本となる「連結会計」の概要を実務的な視点を加え説明
 - ・グループ経営情報の根幹である「連結決算」の基本プロセス全体を説明

●授業内容

日程	回	テーマ
1/13 (金)	第1回	会計基準の国際動向(1) 会計基準のグローバル化進展における国内会計基準の現況(前半)
	第2回	会計基準の国際動向(2) 会計基準のグローバル化進展における国内会計基準の現況(後半)
1/20 (金)	第3回	会計基準の国際動向(3) 国内会計基準と国際的な会計基準との主な相違点及びその背景(前半)
	第4回	会計基準の国際動向(4) 国内会計基準と国際的な会計基準との主な相違点及びその背景(後半)
1/27 (金)	第5回	連結会計とは 連結会計の概要、持分法、連結財務諸表の種類等
	第6回	連結・持分法の基本ルール 連結の範囲と持分法の適用範囲、連結決算日等
2/3 (金)	第7回	連結財務諸表の全体像(1) 個別及び連結財務諸表作成プロセスの違い、開始仕訳
	第8回	連結財務諸表の全体像(2) 少数株主持分及びのれんの会計処理
2/10 (金)	第9回	連結財務諸表の作成(1) 連結精算表、個別財務諸表の合算、連結消去仕訳
	第10回	連結財務諸表の作成(2) 連結消去仕訳(第9回の続き)
2/17 (金)	第11回	持分法 持分法の概要、持分法の適用範囲、持分法の会計処理
	第12回	セグメント情報等 セグメント情報等の内容、作成プロセス及び開示項目
2/24 (金)	第13回	連結財務諸表の表示と注記事項(1) 連結財務諸表の表示(ひな型や事例を基に)
	第14回	連結財務諸表の表示と注記事項(2) 連結財務諸表の注記事項(事例を基に)、当科目全体のまとめ

使用テキスト：「連結会計の経理入門」(中央経済社)

時間：9：50～13：00

●科目名：内部統制

●担当講師：木原徹

- 授業のねらい：企業の内部統制の目的と、その中身の概要を理解する。
特に経理・会計担当者が関係する「財務報告に関する内部統制」の内容を具体的に学習。

●授業内容

日程	回	テーマ
1/18 (水)	第1回	≪内部統制とは≫ ◆T社の不正会計事件など
	第2回	◆内部統制とは？その背景、意義と目的
1/25 (水)	第3回	≪内部統制の基本的枠組み≫ ◆内部統制の大きな枠組みを理解・習得する
	第4回	
2/8 (水)	第5回	≪内部統制のシステム≫ ◆企業の内部統制システムの中身とポイントを理解・習得する
	第6回	特に「業務プロセスの内部統制」 及び「財務報告に関する内部統制」
2/15 (水)	第7回	≪内部統制の評価と報告≫ ◆統制結果のモニタリングやその評価、報告・是正のプロセス等の概要を理解
	第8回	
2/22 (水)	第9回	≪まとめ≫ ◆学習内容の補足、補強
	第10回	

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：14：00～17：10

●科目名：経理マンに必要なスキル（リーダーシップ編）

●担当講師：山崎啓二郎

●授業のねらい：

厳しい経営環境が続く中で企業業績を確保するためには、事業ごとの部分最適に陥らず全体最適の視点での経理部門の役割は益々重要になってきています。確実に利益確保を実現するためには必要に応じて経理部門が「経理の視点」でリーダーシップを発揮し、事業をリードすることも重要な役割となっています。その行動を促す発信力をつけることをねらいとしています。リーダーシップは企業全体への影響力のみならず、自部門での正しいマネジメントを行う上でも必要な属人的な能力です。

●授業内容

程	回	テーマ
12/2 (金)	第1回	リーダーシップの理解 リーダーとリーダーシップ、フォロアーの認識
	第2回	リーダーシップのパターン 統率型と支援型
12/9 (金)	第3回	静かなるリーダーシップ アンチヒーロー型リーダーシップ
	第4回	コミュニケーションの理解
12/16 (金)	第5回	コミュニケーション力の向上
	第6回	経営戦略上の経理マンの役割とリーダーシップの発揮

使用テキスト：「リーダーシップ入門」金井壽宏（かないとしひろ）著 日経文庫

（参考図書：「静かなリーダーシップ」ジョセフ・L・バダラッコ著 翔泳社）

時間：9：50～13：00

●科目名：経理マンに必要なスキル（プレゼンテーション・コミュニケーション編）

●担当講師：円谷洋一

●授業のねらい：

職種を問わずビジネスパーソンにとって不可欠なスキルに「説得力」がある。

説明を超え、説得し共感を得る「説得力強化」を、プレゼンテーション技法演習を通じ修得する。

企画力・構成工夫・視覚化・発表技術、それぞれのスキルの組み合わせにより「説得力と共感獲得力」を得る総合技法がプレゼンテーション。

●授業内容

日程	回	テーマ
1/11 (水)	第1回	講師ならびに受講者プロフィール把握
	第2回	「プレゼンテーションとは」講義
1/18 (水)	第3回	“発表の技術” 演習準備
	第4回	“発表の技術” 個人発表演習ならびに個別評価
1/25 (水)	第5回	“発表の技術” 個人発表演習ならびに個別評価
	第6回	“企画・構成の技術” 演習準備
2/3 (金)	第7回	“企画・構成の技術” 個人発表演習
	第8回	“企画・構成の技術” 個人発表演習
2/10 (金)	第9回	“財務諸表を読み解き提案する事業戦略プレゼンテーション” 企画化・発表策準備
	第10回	“財務諸表を読み解き提案する事業戦略プレゼンテーション” 企画化・発表策準備
2/17 (金)	第11回	“財務諸表を読み解き提案する事業戦略” プレゼンテーション（個人発表）
	第12回	“財務諸表を読み解き提案する事業戦略” プレゼンテーション（個人発表）
2/24 (金)	第13回	受講者相互評価、ならびにビジネス実務への反映協議
	第14回	講評

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：1/11・18・25 9：50～13：00 2/3・10・17・24 14：00～17：10

●科目名：就職支援

●担当講師：橋本光生

●授業のねらい：

就職の中でポイントとなる自己分析、応募書類、企業研究・面接対策をワークショップ形式で実践的に進める

●授業内容

程	回	テーマ
12/5 (月)	第1回	コミュニケーション 自己分析 アイスブレイクとして、受講生間のコミュニケーションワークを行う。その後、訓練生が2人ペアになり、自分の好きなことと強みについて相互に語り合うことで自己分析を進めるワークショップ。ペアの相手を数回変えて行う。
	第2回	自己分析 第1回と同じ内容 および ジョブカード作成作業
1/12 (木)	第3回	応募書類作成方法 訓練生が2人ペアになり、自分のこれまでの仕事の経験の詳細について相互に語り合うことで応募書類作成を進めるワークショップ。ペアの相手を数回変えて行う。
	第4回	応募書類作成方法 第3回と同じ内容
2/2 (木)	第5回	企業研究・面接対策 訓練生が2人ペアになり、片方が求職者役もう一方が面接官役で求職者役が応募書類をもとに話し、面接官が質問するワークショップ。ペアの相手を数回変えて行う。
	第6回	企業研究・面接対策 講師が依頼した企業人を訓練生が囲んで企業人の属する企業や仕事での経験について質問をするワークショップ。

使用テキスト：オリジナルテキスト

時間：12/5 9:50~13:00 1/12、2/2 14:00~17:10